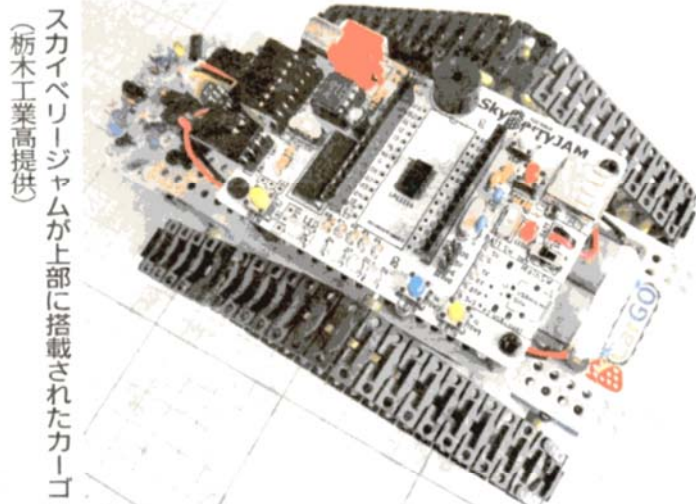


小山市内の全中学校 栃木工業高の 開発教材導入へ プログラム教育活用



スカイベリージャムが上部に搭載されたカーゴ
(栃木工業高提供)

【小山】市教委は4月、市内の全11中学校に栃木工業高が開発したプログラミング教材「SkyBerryJAM(スカイベリージャム)」とそれを搭載して使うロボットカー「SkyBerry Cargo(カーゴ)」を導入する。昨年4月に小学校でプログラミング教育が必修化されたことに

伴い、中学校では実際の開発などを含む実践的な教育が求められるようになったことなどが理由。本体購入費などを含む必要経費は約400万円。各1台と専用センサー1台を1セットと

し、今月末までに各校40セットを配備する予定という。スカイベリージャムはモニターやキーボードを接続すれば、プログラミングをすぐに始められる学習用のパソコン。カーゴは走行用ベルト車を模した機材で、動きを制御するプログラムを組んで動作させるなどして学習に役立てることがで

きる。栃木工業高の山野井清秀教諭によると、これまで栃木市内の小学校が単独で購入したことはなかったが、自治体が教材用に購入するのは初めてという。市教委の担当者は「教材を通じて、市内中学校と同高校との交流にもつなげたい」としている。(江連旭)